

飛騨地域の業者に支援していただきました

福井の大雪に除雪支援

高山こくどう
ニュースレター
2月号

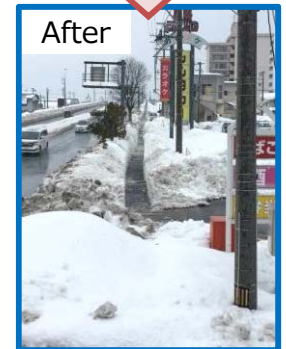
2月4日から福井県を襲った大雪は56豪雪以来、37年ぶりの大雪となり、国道8号には身動きが取れなくなった車両が一時、1500台以上も滞留しました。

これらの一刻も早い解消のため、近畿地方整備局から支援要請を受け、6日より先遣隊として除雪トラック1台を派遣（(株)坂本土木）。翌7日にはテックフォースとして職員3名と除雪トラック1台及び小型除雪車2台を追加（(株)坂本土木、(株)金子工業）し懸命な作業の甲斐もあり9日午前1時に解消しました。

しかし、国道以外も雪の影響があるため、9日にも小型除雪機1台、ペイローダー1台、運搬除雪用ダンプ1台を追加派遣（(株)日産工業）し除雪を行いました。職員及び請負業者の皆さん、慣れない土地での作業、本当にお疲れ様でした。



2/8 ドローンで上空から撮影
延々と車列が...



除雪
トラックによる
除雪及び車両の牽引



百戦錬磨の作業員も「恐怖」を覚えるほどの大雪！



滞留車両の牽引もしました

小型除雪車による歩道の除雪



小型除雪車で除雪中



除雪完了



通学路復活!!

平成29年度 国土交通省「i-Construction大賞」 中部地方で唯一、(株)新井組が優秀賞を受賞

国土交通省では、建設現場の生産性向上に係る優れた取り組みを表彰するため、今年度「i-Construction大賞」を創設し、全国で12団体が選定されました。

中部地方では唯一、優秀賞に(株)新井組が選ばれ、2月15日(木)、国土交通本省において授与式が開催され、石井大臣より表彰状及び記念の盾が授与されました。



石井大臣(写真左)と記念撮影

また(株)新井組は、2月19日(月)に中部地方整備局を訪問し、塚原局長に受賞の報告をしました。



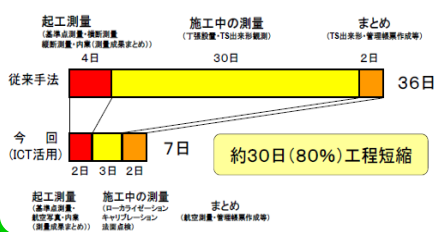
塚原局長(写真左から2番目)と記念撮影

☆i-Construction大賞とは・・・

建設現場の生産性向上(i-Construction)に係る優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Constructionに係る取り組みを推進することを目的に今年度、創設したものです。

【この度受賞した(株)新井組の取り組みを一部紹介】

● UAV測量による作業効率向上を検証



● MC、従来型バックホウの作業分担の設定



● ICT建機のバケット位置精度確認に対する自社規定の設定



● i-Construction 普及促進への取組み



塚原局長が飛騨地域の除雪従事者を激励！

～ 管内出張所職員及び請負業者を陣中見舞い ～

塚原中部地方整備局長及び神山地域道路調整官が高山国道事務所管内の出張所を訪問され、除雪作業に従事する職員及び受注業者を激励されました。その後、管轄する出張所の概要や雪寒事業についてそれぞれの出張所長、係長より説明を行いました。

下呂維持出張所で職員及び受注業者を激励される塚原局長



事業概要及び雪寒事業について説明



高山維持出張所



下呂維持出張所



神岡維持出張所



～飛驒の道づくりを学ぶ～ マダガスカル共和国から研修生が来訪



マダガスカル共和国の国土整備・設備省の行政官等が飛驒の道づくりを学ぶために高山国道事務所に来訪しました。

マダガスカル共和国の首都であるアンタナナリボ都市圏は内陸に位置しており、アンタナナリボ都市圏と港湾都市のトアマシナ都市圏を繋ぐ約370kmの国道2号は、山岳地帯を経由する道路となっています。

しかし、重要な経済軸であるにもかかわらず、頻発する災害による道路の損傷や通行止め、事故の多発が大きな課題となっています。

マダガスカル共和国の主要幹線である国道2号の整備・維持管理の改善のため、山岳道路である国道41号を管理する高山国道事務所において、山岳道路の維持・管理及び沿道地域の発展への貢献について学んで頂きました。



マダガスカルから計14名の研修生が参加



非常にたくさんの質問を頂きました！

質問時間には、主に防災点検と対応策、沿線地域の振興・発展に期待される「道の駅」について、活発な質疑が行われました。

参加者は、自国での問題意識を高くもっており、防災点検と対応策については、点検範囲の設定・考え方、緊急時及び常時の維持管理・対応方法等について、道の駅については、運営者や管理者、自治体が整備する場合の手法など、自国の課題解決の参考にするために色々な疑問点の質疑が行われました。

第2回目の今回は、都竹飛騨市長にインタビューを行いました。

「人口減少先進地飛騨市は、将来の日本の魅力創出先進地となるべき」

- ・飛騨地域、飛騨市は人口減少先進地、都市部の2,30年先を行っている。人口減少は不可避。この状況の中で将来に向けてどのように取り組んでいくかが重要。
- ・では、人口減少の何が問題か、人が減ればその人の日常の消費が喪失。消費が喪失、地方の需要が減れば地域の経済活動はその分減退する。一人年間100万の消費だとしても、1000人減れば10億円が地域の経済から喪失することになる。この喪失する経済活動を地域の中だけ、内需のみで取り戻すことは困難。
- ・人口減少化では「外需」が必須。他の地域からの来訪者の消費、もしくは製品や生産物売り外の消費を獲得することが必要。前者は観光が代表であり、後者は農業・畜産業や製造業。これまでも漠然とはいわれてきていたが、これを明確に自治体の戦略、生きる道としてしっかり定め取り組んでいくことが将来の飛騨地域、飛騨市にとって必要不可欠。
- ・外の消費を獲得するには、製品や生産物を着実に円滑に運ぶことが重要。飛騨市のための道路ネットワークではなく、製品や生産物を供給する他の地域経済と関連づけた道路交通ネットワークの充実が重要。
- ・また、観光消費には、まず円滑に来訪いただく必要がある。更に、観光のトレンドとして、決められたパックスツアーではなく、定番ではないもの、体験できるもの、自由度の高いものがより求められる時代になってきている。単に来てもらうだけでなく、行きたい場所に、行きたい時に、自由に行動できる観光地は魅力的であり、自由な行動を可能とする自動車が、早く、安く、直接、安全に移動できる道路交通ネットワークの充実は観光面でも重要
- ・このように、人口減少先進地飛騨市にとって、今後更に必要となる外需獲得の取り組みと道路交通ネットワークの充実は双方切っても切れない運命共同体のようなものだと考えている。
- ・訪日外国人が増加していることが話題になるが、継続的に外の方から魅力のある日本であるためには、東京・京都など都市部の魅力だけは持続しない。日本の地域それぞれにある、独自のもの、他とは違う魅力が必要。飛騨市には祭りを始め地域独自の魅力があふれている。
- ・都市部においても20年たつと飛騨市と同じ状況が訪れる中、地域独自の魅力を作る努力を行うことは日本全体にとって必要であり、将来にわたり日本が魅力的であり続けるためには、「今」先進的にがんばっている中山間地、まさに飛騨市が魅力的であることが必要。
- ・このことから、20年、30年後の飛騨市、そして日本の将来に向けて、運命共同体である道路の整備を「今」まさに行うことが必要と考えている。



都竹飛騨市長(左)と野津所長

冬の飛騨路を ご利用の皆様へ

お願い!

～道路管理者からのお願い～

今年の冬も厳しい寒さとなり、今後も降雪が続くものと予想されます。除雪作業は冬期の交通確保のため昼夜の別なく行いますので、皆さまのご理解とご協力をお願い致します。



1 路上駐車はご遠慮下さい。

路上駐車や路上放置は、除雪作業の妨げになります。除雪車は大型のため、たった1台でもこのような車両があると、除雪作業ができず、その地域の除雪が後回しになったり、除雪自体ができなくなったりと、地域全体が困ってしまいます。



2 庭木や山林の枝の処理を

雪の重みで、庭木や山林の枝が道路に張り出したり、折れてしまうことがあります。場合によっては、人や車に接触することもありますので、雪が降る前に処理をお願いします。



3 自宅前の歩道除雪にご協力を

短時間で一斉に除雪する必要から、除雪後は、玄関前に雪が取り残されることがあります。玄関前の歩道の雪は、各ご家庭での除雪にご協力をお願いします。また、流雪溝や用水への投雪は、地域ごとに計画を立てて、気持ちよく使いましょう。



4 深夜・早朝の除雪作業にご協力を

朝の通勤・通学時間までに除雪を完了させるため、深夜から早朝にかけて除雪を行います。騒音や振動でご迷惑をおかけしますが、どうぞご理解をお願いします。



飛騨地域の道路管理者の問い合わせ先

- 国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所
問い合わせ先: TEL.(0577)36-3823 FAX.(0577)36-3841
- 岐阜県 下呂土木事務所
問い合わせ先: TEL.(0576)52-3111
- 岐阜県 高山土木事務所
問い合わせ先: TEL.(0577)33-1111
- 岐阜県 古川土木事務所
問い合わせ先: TEL.(0577)73-2911

- 下呂市(建設部 土木課)
問い合わせ先: TEL.(0576)53-2010
- 高山市(基盤整備部 維持課)
問い合わせ先: TEL.(0577)32-3333
- 飛騨市(基盤整備部 建設課)
問い合わせ先: TEL.(0577)73-3936
- 白川村(基盤整備課)
問い合わせ先: TEL.(05769)6-1311

走行時のフロントガラスの「くもり」 にご注意を！！

雨の日や寒い日にトンネルを走行すると、急にフロントガラスやヘルメットのシールド等が「くもる」場合があります。

これは、走行中に冷えたフロントガラスやヘルメットのシールド等が、トンネル内の暖かい空気に触れることによって生じる結露と考えられます。

<運転の際の注意点>

○お車の場合

慌てずにワイパーでくもりをとり、エアコン(デフロスタ)や側面窓ガラスを開けるなど外気との温度差を小さくすることで、くもりは徐々になくなります。

○自動二輪車の場合

トンネル進入時は安全な速度と余裕ある車間距離の確保をお願いします。
また、走行前に市販されている「くもり止め剤」をシールド部分に塗っておくことをお勧めします。

冬の飛驒路は、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なります。
通行時は、車間距離を十分とって慎重な運転を心がけて下さい。



「冬のドライブなび中部」のご紹介

「冬のドライブなび中部」では各種の道路情報を発信中！！

降雪状況、路面状態、気象情報などお出かけ前にチェック!!

冬の飛驒路を安全・関心・快適なドライブを！！

ニーズに応じて各種情報を確認して下さい

①道路規制情報 ②地域別道路情報 ③ライブカメラ映像

・飛驒地域、美濃地域、1号鈴鹿峠、名阪国道、富士山周辺、御殿場周辺、長野県南部地域

④積雪・凍結情報 ⑤気象情報 ⑥冬装備の備え ⑦雪道の運転テクニック

<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/fuyumichi.html>

ブックマークしておくと便利です！

運転中の携帯電話の利用はお控え下さい(運転中に携帯電話を手で保持しての使用は法令違反です)



※インターネットで「冬のドライブなび中部」で検索していただければご利用できます。